

ノートパソコンの教室でのLAN接続マニュアル

コンピュータ部

学校用ノートパソコンのうち、1～10までは教室に持ち運んで、以下のように接続することで、沖縄市地域イントラネットへの接続が可能となり、インターネットやメールができます。まずは1台からでも挑戦してみてください。

<準備するもの> ...だいたいデジカメの棚のあたりに置いてます。必要台数のノートパソコン、HUB(ハブ)...8ポートか16ポートのもの、LANケーブル(1台でも最低2本)、延長コード(最低1個)

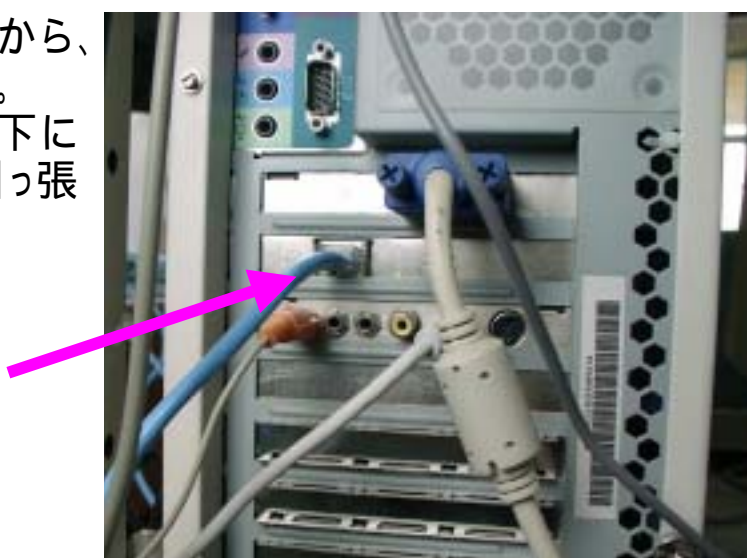
延長コードを電源に差し込み、学級用コンピュータか、ノートパソコンの近くにセットしておく。(ドラムの場合、縦より横に寝かせたほうがいいです。)



HUBを机の上など、落ちにくい場所にセットし、延長コードに電源を差し込む。(なるべく、学級用コンピュータとノートパソコンの中間地点がいいです。)



学級用コンピュータの背面から、既存のLANケーブルを抜く。(LANケーブルの先端を上下につまみながら抜く、無理やり引っ張らないこと!)



抜いたケーブルをHUBのカスケードポート(一番左の穴)に差し込む。(差し込む時は、カチッと音がするまで差し込むこと!)
図は8ポートタイプの場合



学級用コンピュータ外
入っていたLANケーブル

HUBの1番に新しいLANケーブルを差し込み、で抜いた学級用コンピュータの背面の穴に差し込む。(差し込む時は、カチッと音がするまで差し込むこと!)

学級用コンピュータをインターネットにつなぐ場合のみ必要です。



学級用パソコン
インターネット

HUBの2番以降に新しいLANケーブルを差し込み、ノートパソコンの背面に差し込む。(差し込む時は、カチッと音がするまで差し込むこと!)

のHUBの場所は逆でもまったくかまいません!



それぞれのコンピュータの電源を入れ、インターネットができるようであれば、大成功です。

右図は学級の教師用机にノートパソコンとHUBを置いた場合です(HUBは1番がノート、2番が学級用に設定しています。)

<追加>

設定さえすれば、事務室のプリンタも使えるようになります。(何台かは設定済みですが、印刷の際は事務室に必ず声をかけてください。)

